



AJOSC
全日本社会貢献団体機構

編集後記

「社会貢献活動年間報告書 AJOSC's 2017」の発行にあたって

全日本社会貢献団体機構がスタートして13年目に入り、「社会貢献活動年間報告書2017」をお届けします。この報告書は、2017年1月から12月までの一年間に当機構と会員が実施した社会貢献活動を取りまとめたものです。

平成の時代もあと9ヵ月あまり、新元号の決定が待たれるところでもあります。当機構では、2018年4月より西暦表示に統一することにしました。そこで、この年間報告書も西暦表示にいたしました。

2017年を振り返れば、1月は鳥取県の大雪により自動車が立往生したこと、3月は栃木・那須町の雪崩による高校生の事故、7月は福岡県と大分県を中心とした九州北部豪雨などがありました。福岡県の久留米市と大分市を結ぶ久大本線は鉄橋が流失しました。2018年7月14日に全線で運行再開となりますが、復興にはまだ時間がかかります。最近、ハワイやグアテマラの噴火による災害が発生しております。自然災害の多い年となりました。

「AJOSC's 2017社会貢献活動年間報告書」は、『「持続可能な社会」へ～子どもたちの健やかな成長に向けて～』をテーマとして編集しました。未来を担う存在としての子どもたちが健や

かに成長していくことは、まさに「持続可能な社会」づくりに欠かせない要素となります。最近、「子どもの貧困問題」が叫ばれてきております。2017年の社会貢献・社会還元の実施状況調査結果から、全国的に「子ども食堂」への支援が広がってきていることがわかりました。また、「東日本大震災・熊本地震・九州北部豪雨」の被災地の復旧・復興を支援するため、会員である都府県方面組合、支部組合、組合員ホールの皆さんが継続して一丸となって活動してきましたので、その取り組んだ活動内容を紹介しております。

近年、遊技業界を取り巻く諸情勢は極めて厳しい状態ではありますが、地域の課題を地域で解決していく姿勢が求められている中、社会貢献活動やボランティア活動に精力的に取り組んで、地域に根ざした企業として社会にその存在感を高めていくことが重要です。

この報告書は、機構の会員をはじめ、全国の図書館、自治体、警察、経済界など各方面にお送りしています。当機構や業界の社会貢献活動への理解を深めていただく一助になればと願っています。

2018年7月吉日
全日本社会貢献団体機構
事務局長 毛利秀美

AJOSC (All Japan Organization of Social Contribution の略称です)

社会貢献活動年間報告書2017

■発行日:2018年7月19日

■編集・発行:全日本社会貢献団体機構

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町16市ヶ谷見附ハイム103

<http://www.ajosc.org>

■編集協力:株式会社 計画制作社

■印刷:株式会社 デイリースポーツプレスセンター